

## 東久留米自然ふれあいボランティア活動報告

25. 3. 9

### 野火止用水

)での活動報告

場所：野火止用水歴史環境保全地域

(野火止地区) 3月9日 9時～1

5時 天気：晴れ

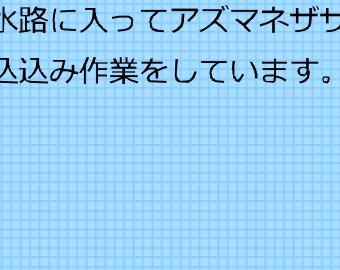
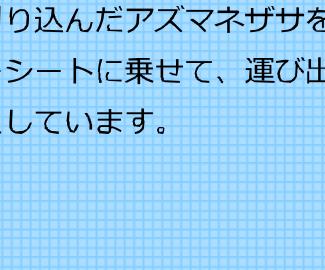
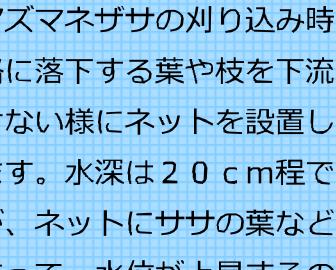


野火止用水沿いの縁には、アズマネザサやトウネズミモチ、ヤマグワなどが生育しており、用水の流れが見えないほどに覆っています。今回は、緑地沿いの20m程の刈り込みや伐採を行った結果、水の流れが見通せるように景観が様変わりしました。

今後も、年間活動予定表に基づき市内各地の雑木林の保全活動を行っていきます。活動報告をご覧になった皆様！活動当日緑地へお出かけください。見学だけでも結構です、皆様のお声掛けをお待ちしております。

3月の活動予定：20日（水）南沢緑地、23日（土）柳窪緑地、30日（土）向山緑地

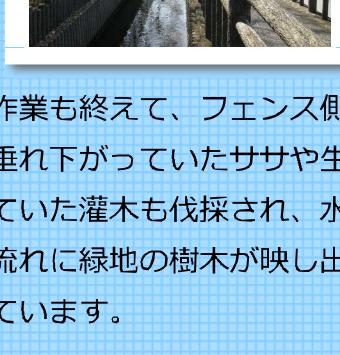
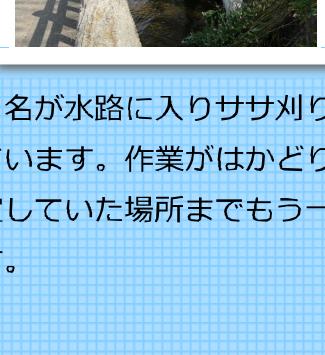
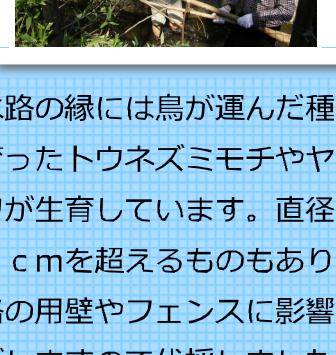
※写真は、樹木の枯枝を落下の危険防止のため剪定している作業です。一人では危険のため、他の人が梯子を押さえています。



アズマネザサの刈り込み時に水路に落下する葉や枝を下流に流さない様にネットを設置しています。水深は20cm程ですが、ネットにササの葉などが詰まって、水位が上昇するので、作業中は担当者が急いで取り除きます。

刈り込んだアズマネザサをブルーシートに乗せて、運び出そうとしています。

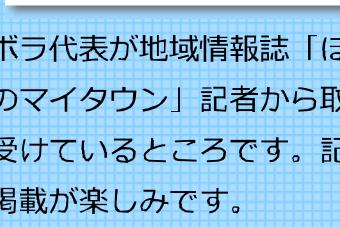
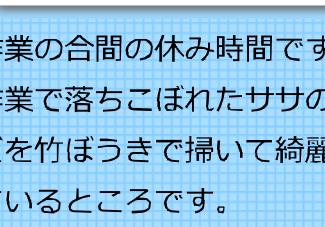
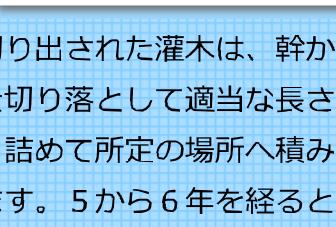
水路に入ってアズマネザサの刈込み作業をしています。



水路の縁には鳥が運んだ種から育ったトウネズミモチやヤマグワが生育しています。直径が10cmを超えるものもあり、水路の用壁やフェンスに影響を及ぼしますので伐採しました。

3名が水路に入りササ刈りをしています。作業がはかどり、予定していた場所までもう一息です。

作業も終えて、フェンス側から垂れ下がっていたササや生育していた灌木も伐採され、水路の流れに緑地の樹木が映し出されています。



切り出された灌木は、幹から枝を切り落として適当な長さに切り詰めて所定の場所へ積み上げます。5から6年を経ると土へ還ることになります。

作業の合間の休み時間ですが、作業で落ちこぼれたササの葉などを竹ぼうきで掃いて綺麗にしているところです。

ボラ代表が地域情報誌「ほのぼのマイタウン」記者から取材を受けているところです。記事の掲載が楽しみです。